

第3回次世代リーダー養成アカデミー開催

第3回次世代リーダー養成アカデミー

平成26年3月14日、JISA会議室で第3回次世代リーダー養成アカデミーが開催された。参加者は受講者26名、講師及び運営委員等15名、計41名。

最終回となる今回は、株式会社コーチ・エィの村方仁氏（国際コーチ連盟プロフェショナル認定コーチ）を講師に迎え、「リーダーシップの持論を持つ」をテーマに、受講者が自らリーダーとしての役割を発見することを目的としたグループワークを行った。



講義ではリーダーについて、リーダーとはポジションが規定するのではなく、リーダーシップを発揮する人が自然発生的に「リーダー」になるものであり、喜んでついてくるフォロワーがいることと判断基準を示した。また、リーダーは自分なりのリーダーシップを身につけることが大切であるとした。

これを受けたグループワークでは、受講者はパートナーを見つけ、お互いのリーダーシップ発揮の経験についてインタビューし、その結果をフィードバックすることにより、自分自身のリーダーシップの棚卸しを行った。これにより、今まで気づいていなかった自分自身の魅力や強みを再認識することにもなった。

次いで、業績の良いor悪いに分類したリーダーとフォロワーそれぞれの行動・言動・態度・感情から特徴についてグループディスカッションし、リーダーシップの持論としてまとめ発表した。更に、これら発表をもとに各自がリーダーシップのセルフ・アセスメント表を作成し、試行を行った。



講義終了後、講師を交え、今期次世代リーダー養成アカデミーの懇親会を行った。今回も受講間の自主的なネットワークにより、今後も交流していくこととなった。

女性支援ミーティング

第3回次世代リーダー養成アカデミーに先立ち、ダイバーシティ部会・人材育成WGの小野田祐子座長（TIS㈱執行役員）のリードで「女性支援ミーティング」が行われ、アカデミー受講生より16名（男性2名含）が参加した。



JISAでは2030年までに指導的地位(管理職、ITスキル標準レベル5相当以上の専門職等)の女性比率を30%にまで引き上げることを目標にした『ダイバーシティ戦略』を推進している。次世代リーダー養成アカデミーでは活躍する女性リーダー拡大のための役割も併せ持っている。

ミーティングでは、出産育児などを中心に女性特有の事情から生まれる人事・雇用上の問題、根強く残る男性中心の社会への不安、各職場ではなかなか話しづらい悩みなどについて率直な意見交換が行われた。参加者は、「人材多様化」の実現に向け一歩踏み出すためのヒントを探していた。



(増田)